

令和5年度

年間授業計画

第二学年



東京都立大島高等学校

〒100-0101
東京都大島町元町字八重の水127

TEL:04992 (2) 1431

FAX:04992 (2) 2461

高等学校 令和5年度（2学年用）教科 地理歴史 科目 日本史探究

教科：地理歴史

科目：日本史探究

単位数：4 単位

対象学年組：第2学年 2組 3組

教科担当者：（2・3組：沢田）（組：）（組：）（組：）（組：）（組：）

使用教科書：（山川出版社 日本史探究 高校日本史）（）

教科 地理歴史 の目標：

【知識及び技能】我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解しているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、物類や年代、経緯、比較、相違の関連や相違をめぐつながらとらえて理解し、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して調査される日本国史としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを養える。

科目 日本史探究 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解しているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、物類や年代、経緯、比較、相違の関連や相違をめぐつながらとらえて理解し、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して調査される日本国史としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを養える。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 時 数
1 学 期	原始・古代	1章 日本文化のあけぼの ・日本文化の始まり ・農耕の開始	【知】市井器文化から縄文文化への変化、弥生文化の成立などを基に、黎明期の日本列島の歴史的背景と文化の形成、原始社会の特色を理解する。 【記】原始・古代の特色を示す適切な歴史資料を基に、資料から歴史に関する情報を収集し、読み取り、表現する。 【主】歴史資料の特性を踏まえ、資料を通して読み取れる情報から、原始・古代の特色について多面的・多角的に考察し、仮説を表現する活動に主体的に取り組む。	○	○	○	7
	原始・古代	2章 古墳とヤマト政権 ・古墳文化の展開 ・飛鳥の朝廷	【知】国家の形成と古墳文化、律令体制の成立過程と継文化の形成などを基に、原始から古代の政治・社会や文化の特色を理解する。 【記】中国大陸・朝鮮半島との関係、唐・唐など中国王朝との関係と政治や文化への影響などに着目して、主題を設定し、小国の形成と統合、古代の国家の形成の過程について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の展開などを根拠を示して表現する。 【主】諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	○	○	○	8
	原始・古代	3章 律令国家の形成 ・律令国家への道 ・平城京の時代 ・律令国家の文化 ・律令国家の衰容	【知】国家の形成と古墳文化、律令体制の成立過程と継文化の形成などを基に、原始から古代の政治・社会や文化の特色を理解する。 【記】中国大陸・朝鮮半島との関係、唐・唐など中国王朝との関係と政治や文化への影響などに着目して、主題を設定し、小国の形成と統合、古代の国家の形成の過程について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の展開などを根拠を示して表現する。 【主】諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
	原始・古代	4章 貴族政治の展開 ・摂関政治 ・国風文化 ・荘園の発達と武士団の成長	【知】貴族政治の展開、文化、地方支配の変化や武士の出現などを基に、律令体制の再編と変容、古代の社会と文化の変容を理解する。 【記】地方の諸勢力の成長と影響、東アジアとの関係の変化、社会の変化と文化との関係などに着目して、主題を設定し、古代の国家・社会の変容について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の展開などを根拠を示して表現する。 【主】諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	○	○	○	10
2 学 期	中世	第5章 院政と武士の進出 ・院政の始まり ・院政と平氏政権	【知】貴族政治の展開、文化、地方支配の変化や武士の出現などを基に、律令体制の再編と変容、古代の社会と文化の変容を理解する。 【記】中世の特色を示す適切な歴史資料を基に、資料から歴史に関する情報を収集し、読み取り、表現する。 【主】諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
	中世	第6章 武家政権の成立 ・鎌倉幕府の成立と展開 ・モンゴル襲来と幕府の衰退 ・鎌倉文化	【知】武家政権の成立と展開、産業の発達、宗教や文化の展開などを基に、武家政権の伸張、社会や文化の特色を理解する。 【記】公武関係の変化、宋・元（モンゴル帝国）などユーラシアとの交流と経済や文化への影響などに着目して、主題を設定し、中世の国家・社会の変容について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の展開などを根拠を示して表現する。 【主】諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	○	○	○	14
	中世	第7章 武家社会の成長 ・室町幕府の成立 ・下組上の社会 ・室町文化 ・戦国の動乱	【知】武家政権の変容、日明貿易の展開と琉球王国の成立、村落や都市の自立、多様な文化の形成や融合などを基に、地方勢力の成長、社会の変容と文化の特色を理解する。 【記】社会や経済の変化とその影響、東アジアの国際情勢の変化とその影響、地域の多様性、社会の変化と文化との関係などに着目して、主題を設定し、中世の国家・社会の変容について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の展開などを根拠を示して表現する。 【主】諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1
	中世	第7章 武家社会の成長 ・室町幕府の成立 ・下組上の社会 ・室町文化 ・戦国の動乱	【知】武家政権の変容、日明貿易の展開と琉球王国の成立、村落や都市の自立、多様な文化の形成や融合などを基に、地方勢力の成長、社会の変容と文化の特色を理解する。 【記】社会や経済の変化とその影響、東アジアの国際情勢の変化とその影響、地域の多様性、社会の変化と文化との関係などに着目して、主題を設定し、中世の国家・社会の変容について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の展開などを根拠を示して表現する。 【主】諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	○	○	○	11
3 学 期	近世	第8章 近世の幕開け ・天下人の登場 ・豊臣政権と桃山文化	【知】鎌倉政権の政治・経済政策、貿易や対外関係などを基に、中世から近世への時代の転換を理解する。 【記】村落や都市の発展、社会の発展と文化の特色を理解する。 【主】近世の特色を示す適切な歴史資料を基に、資料から歴史に関する情報を収集し、読み取り、表現する。 【主】歴史資料の特性を踏まえ、資料を通して読み取れる情報から、近世の特色について多面的・多角的に考察し、仮説を表現する活動に主体的に取り組む。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
	近世	第9章 幕藩体制の成立と展開 ・江戸幕府の成立 ・江戸幕府期の外交と文化 ・幕政の安定 ・経済の発展 ・元禄文化	【知】法や制度による支配秩序の形成と身分制、貿易の統制と海外関係などを基に、幕藩体制の成立の特色を理解する。 【記】交通・流通の発達、都市の発達と文化の担い手との関係などに着目して、主題を設定し、近世の国家・社会の展開について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の展開などを根拠を示して表現する。 【主】諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	○	○	○	20
	近世	第10章 幕藩体制の動揺 ・幕政の改革と宝暦・天明期の文化 ・江戸幕府の衰退 ・文化文政	【知】幕藩や一揆の発生、幕府政治の動揺と諸藩の動向、学問・思想の展開、庶民の生活と文化などを基に、幕藩体制の衰退と、近世の庶民の生活と文化の特色、近代化の基盤の形成を理解する。 【記】社会・経済の仕組みの変化、幕府や諸藩の政策の変化、国際情勢の変化と事象、政治・経済と文化の関係などに着目して、主題を設定し、近世の国家・社会の変容について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の展開などを根拠を示して表現する。 【主】諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	○	○	○	16
						合計	140

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 数学 科目 数学Ⅱ

教科： 数学 科目： 数学Ⅱ 単位数： 4 単位
対象学年組：第 2 学年 2 組～ 3 組
教科担当者：（Aクラス：西川）（Bクラス：柴田）（Cクラス：田中）
使用教科書：（ 新課程 新編 数学Ⅱ （数研出版） ）
使用教材：（ 新課程 教科書傍用 サクシード 数学Ⅱ＋B（数研出版） ）
教科 数学 の目標：

- 【知 識 及 び 技 能】 基本的な概念、原理・法則などを理解し、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けさせる。
- 【思考力、判断力、表現力等】 事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返るなど、数学的な見方や考え方を身に付けさせる。
- 【学びに向かう力、人間性等】 数学的な考え方に興味をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとする。

科目 数学Ⅱ	の目標：
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】
いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分における基本的な概念、原理・法則などを理解し、知識を身に付けて、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付ける。	事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り、多面的・発展的に考えることなどを通して、いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分における数学的な見方や考え方を身に付ける。
	【学びに向かう力、人間性等】
	いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考え方に興味をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	【第1章 式と証明】 【第2章 複素数と方程式】 【知識及び技能】 基本的な概念、原理・法則などを理解し、知識を身に付け、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 数学的な見方や考え方を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 学習内容の考え方に興味をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとする。	改訂版 新編 数学Ⅱ （数研出版） 【第1章 式と証明】 第1節 式と計算 第2節 等式・不等式の証明 改訂版 新編 数学Ⅱ （数研出版） 【第2章 複素数と方程式】 第1節 複素数と2次方程式の解	【知識・技能】 基本的な概念、原理・法則などを理解し、知識が身に付いている。 事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 数学的な見方や考え方を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習内容の考え方に興味をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとしている。	○	○	○	17
	定期考査			○	○	○	9
	【第2章 複素数と方程式】 【第3章 図形と方程式】 【知識及び技能】 基本的な概念、原理・法則などを理解し、知識を身に付け、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 数学的な見方や考え方を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 学習内容の考え方に興味をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとする。	改訂版 新編 数学Ⅱ （数研出版） 【第2章 複素数と方程式】 第2節 高次方程式 改訂版 新編 数学Ⅱ （数研出版） 【第3章 図形と方程式】 第1節 点と直線 第2節 円 第3節 軌跡と領域	【知識・技能】 基本的な概念、原理・法則などを理解し、知識が身に付いている。 事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 数学的な見方や考え方を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習内容の考え方に興味をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとしている。	○	○	○	20
	定期考査			○	○		1
	【第4章 三角関数】 【知識及び技能】 基本的な概念、原理・法則などを理解し、知識を身に付け、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 数学的な見方や考え方を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 学習内容の考え方に興味をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとする。	改訂版 新編 数学Ⅱ （数研出版） 【第4章 三角関数】 第1節 三角関数	【知識・技能】 基本的な概念、原理・法則などを理解し、知識が身に付いている。 事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 数学的な見方や考え方を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習内容の考え方に興味をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとしている。	○	○	○	23
2 学 期	定期考査			○	○		1
	【第4章 三角関数】 【第5章 指数関数と対数関数】 【知識及び技能】 基本的な概念、原理・法則などを理解し、知識を身に付け、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 数学的な見方や考え方を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 学習内容の考え方に興味をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとする。	改訂版 新編 数学Ⅱ （数研出版） 【第4章 三角関数】 第2節 加法定理 改訂版 新編 数学Ⅱ （数研出版） 【第5章 指数関数と対数関数】 第1節 指数関数 第2節 対数関数	【知識・技能】 基本的な概念、原理・法則などを理解し、知識が身に付いている。 事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 数学的な見方や考え方を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習内容の考え方に興味をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとしている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○	○	18
	定期考査			○	○		1
	【第6章 微分法と積分法】 【知識及び技能】 基本的な概念、原理・法則などを理解し、知識を身に付け、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 数学的な見方や考え方を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 学習内容の考え方に興味をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとする。	改訂版 新編 数学Ⅱ （数研出版） 【第6章 微分法と積分法】 第1節 微分係数と導関数 第2節 関数の値の変化 第3節 積分法	【知識・技能】 基本的な概念、原理・法則などを理解し、知識が身に付いている。 事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 数学的な見方や考え方を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習内容の考え方に興味をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとしている。	○	○	○	32
3 学 期	定期考査			○	○		1
							合計 140

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 数学 科目 数学A

教科 数学

科 目： 数学A

単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組

教科担当： 柴田

使用教科書：（ 新課程 新編 数学A （数研出版） ）

使用教材：（ 新課程 教科書傍用 サクシード 数学I + A （数研出版） ）

教科 数学 の目標：

【知識及び技能】基本的な概念、原理・法則などを理解し、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けさせる。

【思考力、判断力、表現力等】事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返るなど、数学的な見方や考え方を身に付けさせる

【学びに向かう力、人間性等】数学的な考え方に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとする。

科目 数学A の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
場合の数と確率、図形の性質および数学と人間の活動における基本的な概念、原理・法則などを理解し、知識を身に付けており、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り、多面的・発展的に考えることなどを通して、場合の数と確率、図形の性質および数学と人間の活動における数学的な見方や考え方を身に付けている。	場合の数と確率、図形の性質および数学と人間の活動の考え方に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	感	配当 時数
1 学 期	【第1章 場合の数と確率】 【知識及び技能】 基本的な概念、原理・法則などを理解し、知識を身に付けており、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 数学的な見方や考え方を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 学習内容の考え方に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとする。	新編 数学A （数研出版） 【第1章 場合の数と確率】 第1節 場合の数	【知識・技能】 基本的な概念、原理・法則などを理解し、知識が身に付いている。 事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 数学的な見方や考え方を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習内容の考え方に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとしている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
	【第1章 場合の数と確率】 【知識及び技能】 基本的な概念、原理・法則などを理解し、知識を身に付けており、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 数学的な見方や考え方を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 学習内容の考え方に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとする。	新編 数学A （数研出版） 【第1章 場合の数と確率】 第1節 場合の数 第2節 確率	【知識・技能】 基本的な概念、原理・法則などを理解し、知識が身に付いている。 事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 数学的な見方や考え方を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習内容の考え方に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとしている。	○	○	○	12
2 学 期	定期考査			○	○		1
	【第1章 場合の数と確率】 【知識及び技能】 基本的な概念、原理・法則などを理解し、知識を身に付けており、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 数学的な見方や考え方を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 学習内容の考え方に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとする。	新編 数学A （数研出版） 【第1章 場合の数と確率】 第2節 確率	【知識・技能】 基本的な概念、原理・法則などを理解し、知識が身に付いている。 事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 数学的な見方や考え方を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習内容の考え方に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとしている。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
3 学 期	【第2章 図形の性質】 【知識及び技能】 基本的な概念、原理・法則などを理解し、知識を身に付けており、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 数学的な見方や考え方を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 学習内容の考え方に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとする。	新編 数学A （数研出版） 【第2章 図形の性質】 第2節 空間図形	【知識・技能】 基本的な概念、原理・法則などを理解し、知識が身に付いている。 事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 数学的な見方や考え方を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習内容の考え方に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとしている。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
3 学 期	【第3章 数学と人間の活動】 【知識及び技能】 基本的な概念、原理・法則などを理解し、知識を身に付けており、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 数学的な見方や考え方を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 学習内容の考え方に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとする。	新編 数学A （数研出版） 【第3章 数学と人間の活動】	【知識・技能】 基本的な概念、原理・法則などを理解し、知識が身に付いている。 事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 数学的な見方や考え方を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習内容の考え方に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとしている。	○	○	○	19
	定期考査			○	○		1
							合計 70

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 数学 科目 数学B

教科： 数学 科目： 数学B 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 2 組～ 3 組

教科担当者：（2,3組：田中）

使用教科書：（数研出版 新編数学B ）

教科 数学 の目標：

- 【知識及び技能】数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し、表現できる技能を身につける。
- 【思考力、判断力、表現力等】数学を活用して事象を論理的に考察する力や、事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身につける。
- 【学びに向かう力、人間性等】粘り強く考え数学的根拠に基づいて判断しようとする態度を身につける。

科目 数学B の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数列、統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し、事象を数値化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身につける。	離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察する力、確率分布や標本分布の性質に着目し、母集団の傾向を推測し判断したり、標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力を身につける。	問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を身につける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	等差数列と等比数列 数列やその一般項の表し方について理解する。	・数列と一般項 ・等差数列 ・等差数列の和 ・等比数列 ・等比数列の和	数列やその一般項の表し方について理解しているか。	○	○	○	10
	いろいろな数列 いろいろな数列について、その一般項や和を求めたり、和から一般項を求めたりできるようにする。	・和の記号 Σ ・階差数列 ・いろいろな数列の和	いろいろな数列について、その一般項や和を求めたり、和から一般項を求めたりできるか。	○	○	○	8
	漸化式と数学的帰納法 数列の帰納的な定義について理解し、漸化式から一般項が求められるようにするとともに、複雑な漸化式を既知のものに帰着して考えられるようにする。	・漸化式 ・数学的帰納法	数列の帰納的な定義について理解し、漸化式から一般項が求められるようにするとともに、複雑な漸化式を既知のものに帰着して考えられるか。	○	○	○	8
2 学 期	確率分布 連続的確率変数についても理解し、正規分布を様々な日常の事象の考察に活用できるようにする。	・確率変数と確率分布 ・確率変数の期待値と分散 ・確率変数の和と積 ・二項分布 ・正規分布	連続的確率変数についても理解し、正規分布を様々な日常の事象の考察に活用できるか。	○	○	○	15
	統計的な推測 母平均や母比率の推定、正規分布を用いた仮説検定ができるようにし、それらを日常の事象の考察や様々な判断に積極的に活用しようとする態度を身につける。	・母集団と標本 ・標本平均の分布 ・推定 ・仮説検定	母平均や母比率の推定、正規分布を用いた仮説検定ができるようにし、それらを日常の事象の考察や様々な判断に積極的に活用しようとする態度を身につけたか。	○	○	○	11
3 学 期	数学と社会生活 社会生活などにおける問題を、数学を活用して解決する意義について理解する。	・数学を活用した問題解決 ・社会の中にある数学 ・移動平均 ・回帰分析	社会生活などにおける問題を、数学を活用して解決する意義について理解できたか。	○	○	○	18
							合計
							70

高等学校 令和5年度（2学年用）教科 理科 科目 生物基礎

使用教科書：（ 生物基礎（東京書籍） ）

【学びに向かう力、人間性等】 自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。	生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	様々な生物の比較に基づいて、生物は多様でありながら共通性をもっていることを見いだして理解すること。また、生物の共通性と起源の共有を関連付けて理解する。	1 編 生物の特徴 生物の特徴	様々な生物の比較に基づいて、生物は多様でありながら共通性をもっていることを見いだして理解すること。また、生物の共通性と起源の共有を関連付けて理解できているか。	○	○	○	6
	生物とエネルギーに関する資料に基づいて、生命活動にエネルギーが必要であることを理解すること。また、光合成や呼吸などの代謝とATPを関連付けて理解する。	1 編 生物の特徴 生物とエネルギー	生物とエネルギーに関する資料に基づいて、生命活動にエネルギーが必要であることを理解できているか。また、光合成や呼吸などの代謝とATPを関連付けて理解できているか。	○	○	○	6
	植生の遷移に関する資料に基づいて、遷移の要因を見出して理解すること。また、植生の遷移をバイオームと関連付けて理解する。	4 編 生物の多様性と生態系 植生と遷移	植生の遷移に関する資料に基づいて、遷移の要因を見出して理解できているか。また、植生の遷移をバイオームと関連付けて理解できているか。	○	○	○	6
	①生態系と生物の多様性に関する観察、実験を行い、生態系における生物の種多様性を見出して理解する。また、生物種多様性と生物間の関係性とを関連付けて理解する。 ②生態系のバランスに関する資料に基づいて、生態系のバランスと人為的攪乱を関連付けて理解する。また、生態系の保全の重要性を認識する。	4 編 生物の多様性と生態系 生態系と生物の多様性	①生態系と生物の多様性に関する観察、実験を行い、生態系における生物の種多様性を見出して理解できているか。また、生物種多様性と生物間の関係性とを関連付けて理解できているか。 ②生態系のバランスに関する資料に基づいて、生態系のバランスと人為的攪乱を関連付けて理解できているか。また、生態系の保全の重要性を認識できているか。	○	○	○	6
	期末考査			○	○		1
	DNAの構造に関する資料に基づいて、遺伝情報を担う物質としてのDNAの特徴を見いだして理解するとともに、塩基の相補性とDNAの複製を関連付けて理解する。	2 編 遺伝子とそのはたらき 遺伝情報とDNA	DNAの構造に関する資料に基づいて、遺伝情報を担う物質としてのDNAの特徴を見いだして理解するとともに、塩基の相補性とDNAの複製を関連付けて理解できているか。	○	○	○	6
2 学 期	遺伝情報の発現に関する資料に基づいて、DNAの塩基配列とタンパク質のアミノ酸配列との関係を見いだして理解する。	2 編 遺伝子とそのはたらき 遺伝情報とタンパク質	遺伝情報の発現に関する資料に基づいて、DNAの塩基配列とタンパク質のアミノ酸配列との関係を見いだして理解する。	○	○	○	6
	①体の調節に関する観察、実験などを行い、体内での情報伝達が体の調節に関係していることを見いだして理解する。 ②体内環境の維持の仕組みに関する資料に基づいて、体内環境の維持とホルモンの働きとの関係を見出して理解する。また、体内環境の維持を自律神経と関連付けて理解する。	3 編 ヒトの体と調節 体内環境と情報伝達	①体の調節に関する観察、実験などを行い、体内での情報伝達が体の調節に関係していることを見いだして理解する。 ②体内環境の維持の仕組みに関する資料に基づいて、体内環境の維持とホルモンの働きとの関係を見出して理解する。また、体内環境の維持を自律神経と関連付けて理解する。	○	○	○	6
	免疫に関する資料に基づいて、異物を排除する防御機構が働いていることを身に出して理解する。	3 編 ヒトの体と調節 免疫のはたらき	免疫に関する資料に基づいて、異物を排除する防御機構が働いていることを身に出して理解する。	○	○	○	6
	期末考査			○	○		1
	生物や生物現象について、観察、実験などを通して探究し、表現すること。	探究活動	生物や生物現象について、観察、実験などを通して探究し、表現すること。	○	○	○	18
				○	○	○	合計 70

高等学校 令和5年度（2学年用）教科 保健体育 科目 体育

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 3 組

使用教科書：（ 現代高等保健体育 ）

【知 識 及 び 技 能】 各種の運動の特性に応じた技能など及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身につけるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解しているとともに、それらの技能を身につけている。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに自己や仲間と考えたことを他者に伝えている。	生涯にわたって継続して運動に親しむために、取り組む競争や協力の経験を通して、公正にやりおける、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の確信を大切にするうするとともに健康・安全を確保している。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 時 数
1 学 期	オリエンテーション 体育理論 身体能力の向上について、その理論や具体的な方法について理解し、計画的に実践することができる。	体育授業に臨む心構えと授業ルール、授業の進め方、取り組み姿勢について 運動やスポーツの効果的な学習の仕方、実生活への位置づけ	スポーツテストなどを通じて、筋力・持久力・柔軟性・敏捷性などの能力がどう向上していくのか、合理的・計画的な実践力と互いに協力し、安全に取り組むことができる。	○	○	○	10
	陸上競技(短距離走) 体の使い方や記録向上のための計画的な取り組みや走法について理解する。 体づくり運動 巧緻性を育みながら、種々の体育種目と運動を生かすことができる。	1 0 0 m走 2 0 0 m走 4 0 0 m走 コーディネーショントレーニング	各距離における走り方について理解し、記録向上のために合理的・計画的に取り組むことができる。 体の使い方や身のこなし方について、様々な種目と関連付けて取り組み、なおかつ互いに協力しながら協働できる。	○	○	○	15
	定期考査						
	水泳 4泳法の内、2泳法についての泳法の理解と記録向上のための計画的な実践、安全面に配慮し、居り協働ができる。	自由形(クロール) 平泳ぎ	クロール・平泳ぎの泳法について理解し、意欲的に取り組み技能を高めることができる。また記録向上のために計画的に泳ぎこみ、また安全に配慮し互いに協力して泳法や技能向上に取り組むことができる。	○	○	○	15
	定期考査						
2 学 期	球技（バレーボール） ネット型の競技を通じての協働、また種目の特性としての個人の技術・技能を高め、試合形式の中での仲間意識の向上を目指す。	バレーボール	バレーボールにおける個々の技能を高め、また合理的・計画的に考えて技能向上に取り組むことができる。また用具や施設の安全管理、試合形式における役割を責任もって果たし、互いに協力して、運営できる。				15
	ダンス リズムに合わせた全身運動、各ダンスジャンルのリズムや動きを通して身体運動のみならず、文化的側面としてのダンスも学ぶ。	ダンス	様々なジャンルのダンスや個々の体の動きのみならず表現についても理解し、合理的・計画的に技能向上のために取り組むことができる。また互いに協働し安全に留意して活動することができる。				15
	器械運動(マット運動) 回転系の種目、倒立系の種目、それらの混合の種目の特性を理解し、表現としての技の組み合わせを到達地点とする。	器械運動(マット運動)	前転や後転といった回転系の技に開脚や伸膝といった要素を取り入れるとともに倒立系の動きを混ぜ各技の完成度を高めるとともに安全面への配慮に細心の注意を払い仲間と協働して計画的に取り組むことができる。				15
3 学 期	陸上競技(長距離走) 男子10km、女子8kmを到達地点として、各距離に応じた走り方や心肺能力の向上について理解し、計画的に記録向上させることができる。	陸上競技(長距離走)	各距離における走法の理解、到達距離に向けた計画的な取り組みができ、互いに協力することができる。				20
							合計
							105

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	現代社会と健康 ・健康の捉え方	私たちの健康の姿 健康の捉え方 健康と意思決定・行動選択 健康に関する環境づくり	健康について正しくとらえること、理想の健康についての課題を考えること、健康とは何かの問いに対し、自分なりの答えを考えること。健康な生活への課題と改善に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	4
	現代社会と健康 ・生活習慣病などの予防と回復 ・喫煙、飲酒、薬物乱用と健康	生活習慣病と予防 食事と健康 運動と健康 休養・睡眠と健康 喫煙と健康 飲酒と健康 薬物乱用と健康	生活習慣病の原因について毎日の食事・運動・休養との関係性について正しく理解し、将来の生活への課題を主体的に見つけること、また飲酒や喫煙といった嗜好や習慣と健康への影響について考え、薬物乱用防止の知識を深めようとしている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
2 学 期	現代社会と健康 ・現代の感染症と予防	現代の感染症 感染症の予防 性感症・エイズとその予防	新興感染症や再興感染症、また現代における感染症についての知識を深め、感染症の予防や課題について考え、あわせて、性感症との関連についても主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	3
	現代社会と健康 ・精神疾患の予防と回復	欲求と適応規制 心身相関とストレス ストレスへの対処 心の健康と自己実現	心の安定と欲求、欲求不満との関係について、心身相関の観点からも理解を深めることができる。なおかつ自らの課題を考えることができる。ストレスへの対処や現代における課題について主体性をもって解決するために取り組もうとしている。	○	○	○	4
	定期考査			○	○		1
3 学 期	現代社会と健康 ・安全な社会づくり	交通事故の現状と原因 交通社会における運転者の資質と責任 安全な交通社会づくり	交通事故の原因について理解し、安全運転の必要性和高校生時期における交通マナーの問題点について自ら考え課題を見つけることができる。安全な交通社会について主体的に考え課題解決に取り組もうとしている。	○	○	○	5
	現代社会と健康 ・応急手当	応急手当の意義とその基本 心肺蘇生法 日常的な応急手当	傷病者に対しての応急処置（R I C E 処置）について理解し、また心肺蘇生法について知識だけでなく実践力も身につけている。また季節や状況に応じて傷病等発生の予測について考えることができ、主体的に課題解決に取り組もうとしている。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
							合計
							35

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 芸術 科目 音楽Ⅱ

教科：芸術 科目：音楽Ⅱ

単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 1組～3組

教科担当：（1組：赤木）（2,3組：赤木）（組：）（組：）（組：）（組：）

使用教科書：（MOUSA2）

教科：芸術

目標：

【知識及び技能】芸術に関する各教科の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができる。

【学びに向かう力、人間性等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができる。

科目 音楽Ⅱ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創造工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。	個性豊かに音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			歌	器	創					
1 学 期	曲にふさわしい発声や奏法 【知識及び技能】歌唱や楽器の特徴について理解するとともに、曲にふさわしい奏法などの技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】知覚したことに感受したことの関わりについて考え、個性豊かに歌唱表現を創意工夫できる。 【学びに向かう力、人間性等】歌唱や楽器の特徴を生かし、表現を工夫して演奏する活動に主体的に取り組むことができる。	【指導項目】 ・合唱 【教材】 ・校歌・ハナミズナ ・一人1台端末 【指導項目】 ・歌唱 ・ピアノ ・創作 【教材】 ・唱歌 ・一人1台端末	○			【知識及び技能】歌唱や楽器の特徴について理解するとともに、曲にふさわしい奏法などの技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】知覚したことに感受したことの関わりについて考え、個性豊かに歌唱表現を創意工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】歌唱や楽器の特徴を生かし、表現を工夫して演奏する活動に主体的に取り組んでいる。	○		○	5 6
	世界の様々な音楽 【知識及び技能】曲想や表現上の効果と音楽構造との関わりおよび音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽の良さを味わって聴くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽の良さを味わって聴く活動に主体的に取り組むことができる。	【指導項目】 ・西洋音楽史 ・ピアノ ・ギター 【教材】 ・アヴェヴェルムコルプス ・ピアノオリジナル曲 ・一人1台端末				【知識及び技能】曲想や表現上の効果と音楽構造との関わりおよび音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽の良さを味わって聴いている。 【学びに向かう力、人間性等】音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽の良さを味わって聴く活動に主体的に取り組んでいる。	○	○	○	6
	アンサンブル 【知識及び技能】様々な表現形態による音楽表現の固有性や多様性について理解し、表現形態の特徴や表現上の効果を生かして演奏する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】知覚したことに感受したことの関わりについて考え、個性豊かに音楽表現を創意工夫できる。 【学びに向かう力、人間性等】演奏形態の特徴や表現上の効果を生かし、表現を工夫して演奏する活動に主体的に取り組むことができる。	【指導項目】 ・アンサンブル ・鑑賞 【教材】 ・さくら ・ジャズ ・蜜蜂と迷宮 ・一人1台端末	○			【知識及び技能】様々な表現形態による音楽表現の固有性や多様性について理解し、表現形態の特徴や表現上の効果を生かして演奏する技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】知覚したことに感受したことの関わりについて考え、個性豊かに音楽表現を創意工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】演奏形態の特徴や表現上の効果を生かし、表現を工夫して演奏する活動に主体的に取り組んでいる。	○	○	○	9
2 学 期	歌唱と楽器 【知識及び技能】曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果について理解するとともに、表現形態の特徴や表現上の効果を生かして歌う技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】知覚したことに感受したことの関わりについて考え、個性豊かに表現を創意工夫できる。 【学びに向かう力、人間性等】曲想と音楽の構造や歌詞に関心をもち、表現を工夫して演奏する活動に主体的に取り組むことができる。	【指導項目】 ・ミュージカルの歌 ・ドイツ語の歌 ・弾き語り 【教材】 ・春への憧れ ・民衆の歌 ・涙そうそう ・一人1台端末	○			歌唱と楽器 【知識及び技能】曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果について理解するとともに、表現形態の特徴や表現上の効果を生かして歌う技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】知覚したことに感受したことの関わりについて考え、個性豊かに表現を創意工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】表現形態の特徴や表現上の効果に関心をもち、表現を工夫して演奏する活動に主体的に取り組んでいる。	○	○	○	5 8
	楽曲創作 【知識及び技能】音楽材、音を連ねたり重ねたりした時の響き、音階や音型などの特徴及び構成上の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解を深めるとともに、旋律をつくったり、つくった旋律に副次的な旋律や和音などを付けた音楽をつくり出す技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】創作表現に関わる知識や技能を生かしながら、個性豊かに創作表現を創意工夫できる。 【学びに向かう力、人間性等】音楽材などの特徴を生かし、個性豊かに創作する活動に主体的に取り組むことができる。	【指導項目】 ・楽曲創作 【教材】 ・ドラゴンクエスト ・ルーマニア民族舞 ・自作の4コマの物語 ・楽譜制作サイト「Flat」 ・一人1台端末		○	○	【知識及び技能】音楽材、音を連ねたり重ねたりした時の響き、音階や音型などの特徴及び構成上の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解を深めるとともに、旋律をつくったり、つくった旋律に副次的な旋律や和音などを付けた音楽をつくり出す技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】創作表現に関わる知識や技能を生かしながら、個性豊かに創作表現を創意工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】音楽材などの特徴を生かし、個性豊かに創作する活動に主体的に取り組んでいる。	○	○	○	13
	曲にふさわしい表現 【知識及び技能】音楽の特性と曲種に応じた発声との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果を理解し、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使用などの技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】知覚したことに感受したことの関わりについて考え、個性豊かに歌唱表現を創意工夫できる。 【学びに向かう力、人間性等】言語の違いによる歌唱の特徴を生かし、個性豊かに表現を工夫して演奏する活動に主体的に取り組むことができる。	【指導項目】 ・合唱 【教材】 ・愛されないもの ・一人1台端末	○			【知識及び技能】音楽の特性と曲種に応じた発声との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果を理解し、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使用などの技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】知覚したことに感受したことの関わりについて考え、個性豊かに歌唱表現を創意工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】言語の違いによる歌唱の特徴を生かし、個性豊かに表現を工夫して演奏する活動に主体的に取り組んでいる。	○	○	○	8
3 学 期	演奏会企画 【知識及び技能】様々な表現形態による表現の固有性や多様性を理解し、表現形態の特徴や表現上の効果および他者との調和を意識して演奏する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】知覚したことに感受したことの関わりについて考え、個性豊かに表現を創意工夫できる。 【学びに向かう力、人間性等】表現形態の特徴や表現上の効果を生かし、個性豊かに表現を工夫して演奏する活動に主体的に取り組むことができる。	【指導項目】 ・任意の曲の演奏 【教材】 ・任意の楽曲 ・一人1台端末	○	○		【知識及び技能】様々な表現形態による表現の固有性や多様性を理解し、表現形態の特徴や表現上の効果を生かし、個性豊かに表現する技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】知覚したことに感受したことの関わりについて考え、個性豊かに表現を創意工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】表現形態の特徴や表現上の効果を生かし、個性豊かに表現を工夫して演奏する活動に主体的に取り組んでいる。	○	○	○	10 合計 70

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 農業 科目 植物バイオテクノロジー

教 科： 農業 科 目： 植物バイオテクノロジー 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 1 組

教科担当者： 土屋

使用教科書： （ 実教出版「草花」 ）

教科 農業 の目標：

【知識及び技能】農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 植物バイオテクノロジー の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
植物バイオテクノロジーについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する知識・技術を身に付けるようにする。	植物バイオテクノロジーに関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。	植物バイオテクノロジーについて基礎的な知識と技術を実際に活用できるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
	・ バイオテクノロジーに興味関心を持つ。 ・ 植物バイオテクノロジーについて科学的に捉え、主体的に学ぶ意欲と態度を身に付ける。 ・ 植物バイオテクノロジーとそれらの生育環境を多面的・科学的に考察し、諸課題を整理し、解決に向けた具体的な取組を考え、発表により表現できる。 ・ 無菌操作の特性や生育環境・管理に関する基礎的な知識を身につけるとともに、技術の仕組みを理解する。	施設案内、身の回りの菌培養 植物バイオテクノロジーについて器具の名称、取り扱い 殺菌・滅菌 無菌操作「無菌播種」 コンタミネーションについて 培地について	【知識及び技能】 植物バイオテクノロジーについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する知識・技術を身に付いた 【思考力、判断力、表現力等】 植物バイオテクノロジーに関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決できる 【学びに向かう力、人間性等】 植物バイオテクノロジーについて基礎的な知識と技術を実際に活用できるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働に取り組める	○	○	○	25
	定期考査			○	○		1
2 学 期	・ バイオテクノロジーに興味関心を持つ。 ・ 植物バイオテクノロジーについて科学的に捉え、主体的に学ぶ意欲と態度を身に付ける。 ・ 植物バイオテクノロジーとそれらの生育環境を多面的・科学的に考察し、諸課題を整理し、解決に向けた具体的な取組を考え、発表により表現できる。 ・ 無菌操作の特性や生育環境・管理に関する基礎的な知識を身につけるとともに、技術の仕組みを理解する。	任意の細胞片培養実験 組織培養とは分化全能性 分化と脱分化 植物ホルモンについて ペーパーシュレッド培地について キクの花弁培養の目的について パーミキュライト順化 ニンジンの肥大根培養 コルクボーラーの使用 方法 ウイルスフリー苗	【知識及び技能】 植物バイオテクノロジーについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する知識・技術を身に付いた 【思考力、判断力、表現力等】 植物バイオテクノロジーに関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決できる 【学びに向かう力、人間性等】 植物バイオテクノロジーについて基礎的な知識と技術を実際に活用できるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働に取り組める	○	○	○	25
	定期考査			○	○		1
3 学 期	・ バイオテクノロジーに興味関心を持つ。 ・ 植物バイオテクノロジーについて科学的に捉え、主体的に学ぶ意欲と態度を身に付ける。 ・ 植物バイオテクノロジーとそれらの生育環境を多面的・科学的に考察し、諸課題を整理し、解決に向けた具体的な取組を考え、発表により表現できる。 ・ 無菌操作の特性や生育環境・管理に関する基礎的な知識を身につけるとともに、技術の仕組みを理解する。	2学期の復習 カーネーションの茎頂培養 任意の茎頂培養 自分で選んだ植物の培養 遺伝子組み換え	【知識及び技能】 植物バイオテクノロジーについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する知識・技術を身に付いた 【思考力、判断力、表現力等】 植物バイオテクノロジーに関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決できる 【学びに向かう力、人間性等】 植物バイオテクノロジーについて基礎的な知識と技術を実際に活用できるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働に取り組める	○	○	○	17
	定期考査			○	○		1
							合計
							70

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科		農業	科目 地域資源活用
教 科： 農業	科 目： 地域資源活用	単位数： 2	単位
対象学年組：第 2 学年 1 組			
教科担当者：（丸橋）			
使用教科書：（			
教科 農業	の目標：		
【知識及び技能】	地域資源の活用について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。		
【思考力、判断力、表現力等】	地域資源の活用に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。		
【学びに向かう力、人間性等】	地域資源の活用について新たな価値の創造に寄与できるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。		

科目 地域資源活用 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
地域資源の活用について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	地域資源の活用に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。	地域資源の活用について新たな価値の創造に寄与できるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	・地域資源活用に関するプロジェクト学習について理解するとともに、関連する技術を身に付けさせる。 ・地域資源活用に関するプロジェクト学習に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を身に付けさせる。 ・地域資源活用に関するプロジェクト学習について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組むことができる。	(1)「地域資源とプロジェクト学習」 ア：地域資源活用に関するプロジェクト学習の意義 イ：プロジェクト学習の進め方	【知識・技能】 地域資源活用に関するプロジェクト学習について理解するとともに、関連する技術を身に付けようとしている。 【思考・判断・表現】 地域資源活用に関するプロジェクト学習に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 地域資源活用に関するプロジェクト学習について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	24
	・農山村社会の変化と地域振興について理解するとともに、関連する技術を身に付けさせる。 ・農山村社会の変化と地域振興に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を身に付けさせる。 ・農山村社会の変化と地域振興について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組むことができる。	(2)農山村社会の変化と地域振興 ア農山村社会の現状と変化 イ地域活性化に向けた施策・取組	【知識・技能】 農山村社会の変化と地域振興について理解するとともに、関連する技術を身に付けようとしている。 【思考・判断・表現】 農山村社会の変化と地域振興に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 農山村社会の変化と地域振興について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	
	定期考査			○	○		2
2 学 期	・地域資源活用の意義と役割について理解するとともに、関連する技術を身に付けさせる。 ・地域資源活用の意義と役割に関する課題を発見、科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を身に付けさせる。 ・地域資源活用の意義と役割について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組むことができる。	(3)地域資源活用の意義と役割 ア 地域資源の魅力と価値 イ 地域振興に向けた施策と取組 ウ 異業種連携と商品価値の創造	【知識・技能】 地域資源活用の意義と役割について理解するとともに、関連する技術を身に付けようとしている。 【思考・判断・表現】 地域資源活用の意義と役割に関する課題を発見、科学的な根拠に基づいて創造的に解決しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 地域資源活用の意義と役割について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	24
	定期考査			○	○		2
3 学 期	・地域資源活用の意義と役割について理解するとともに、関連する技術を身に付けさせる。 ・地域資源活用の意義と役割に関する課題を発見、科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を身に付けさせる。 ・地域資源活用の意義と役割について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組むことができる。	(4)地域資源の価値と活用 ア 観光への活用 イ 商品開発への活用	【知識・技能】 地域資源活用の意義と役割について理解するとともに、関連する技術を身に付けようとしている。 【思考・判断・表現】 地域資源活用の意義と役割に関する課題を発見、科学的な根拠に基づいて創造的に解決しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 地域資源活用の意義と役割について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	16
	定期考査			○	○		2
							合計
							70

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 農業 科目 畜産

教科 科： 農業 科 目： 畜産 単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組

教科担当者：（梅田）

使用教科書：（ 実教出版「畜産」 ）

- 教科 農業 の目標：
- 【知識及び技能】 農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに関連する技術を身に付けようとする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえて合理的かつ創造的に解決する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 畜産	の目標：
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】
【学びに向かう力、人間性等】	

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	・日本の畜産について、その特徴を理解するとともに、畜産のもつさまざまな役割について理解する。 ・家畜の生理・生態と飼育環境について理解するとともに、家畜排せつ物の有効活用を図ることの重要性等を理解する。 ・家畜に対する適正な飼料給与等について理解するとともに、未利用資源の活用や自給飼料生産の重要性等について理解する。	第1章 日本の畜産の特徴と役割 1. 日本の畜産の特徴 2. 日本における畜産物の需給と動向 3. 畜産の役割 4. 科学の発展と畜産への活用 第2章 家畜の生理・生態と飼育環境 1. 家畜の生理・生態 2. 飼育環境の調節 3. 家畜排せつ物の処理と利用 第3章 家畜と飼料 1. 家畜の栄養と栄養素 2. 家畜の消化器官と消化・吸収 3. 飼料の特性と給与 4. 飼料作物の特徴と草地の管理	【知識・技能】 ・日本の畜産の特徴について理解するとともに畜産のもつ重要な役割について及び今後の我が国の畜産のあり方等を理解している。 ・適切な家畜の生理・生態と飼育環境及び飼育環境の改善について理解している。 ・家畜に必要な栄養と栄養素を理解するとともに適切な給与法について理解している。 【思考・判断・表現】 ・現状を踏まえた畜産の重要な役割や今後の我が国の畜産のあり方について表現することができる。 ・適切な家畜の生理・生態と飼育環境について理解し、飼育環境の改善を行うことができる。 ・家畜に必要な栄養と栄養素を理解するとともに適切な給与ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度及び実習態度 ・学んだ知識や技能を畜産経営の技術改善につなげようとしている。	○	○	○	24
定期考査				○	○		2
2 学 期	・各家畜の形態や習性の特性を理解し、生理・生態の特徴を把握する。 ・各家畜にあわせた合理的な飼育管理や飼育環境を理解する。 ・各家畜の飼養管理と生産性、生産物の品質向上についての理解をする。	第4章 家畜の飼育 1. 養鶏 2. 養豚 3. 酪農 4. 肉用牛 5. 特用家畜	【知識・技能】 ・各家畜の形態や習性の特徴等について理解するとともに生理・生態にあわせた飼養管理について理解している。 【思考・判断・表現】 ・各家畜の適切な家畜の生理・生態と飼育環境について理解し、飼育環境の改善を行うことができる。 ・家畜の生産性や生産物の品質向上の方策について理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度及び実習態度 ・学んだ知識や技能を畜産経営の技術改善につなげようとしている。	○	○	○	24
定期考査				○	○		2
3 学 期	・畜産経営を持続・発展させるために畜産経営の収益構造を理解するとともに、市場における価格形成を把握する。 ・畜産経営における技術成績と収益の関連性を理解し、経営改善のあり方を理解する。	第5章 畜産経営の改善 1. 畜産経営の基礎 2. 畜産経営の改善 第6章 畜産経営の実践 1. 実践事例の研究 年間学習のまとめ	【知識・技能】 ・畜産経営を持続・発展させるために畜産経営の収益構造を理解している。市場における価格形成について理解している。 ・畜産経営における技術成績と収益の関連性及び経営改善のあり方を理解している。 【思考・判断・表現】 ・畜産経営における技術成績と収益の関連性及び経営改善のあり方を踏まえた経営改善計画の方向性を明らかにすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度及び実習態度 ・学んだ知識や技能を畜産経営の技術改善につなげようとしている。	○	○	○	16
定期考査・まとめ				○	○		2
				○	○		合計
							70

年間授業計画

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 農業 科目 草花

教科：農業 科目：草花 単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 1組

教科担当者：土屋

使用教科書：（実教出版「草花」）

教科 農業 の目標：

- 【知識及び技能】農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
草花分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する知識・技術を身に付けるようにする。	草花分野に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。	草花分野について基礎的な知識と技術を実際に活用できるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	オリエンテーション			○	○	○	1
	・草花に興味関心を持つ。	「草花栽培の基礎と応用」 ・花壇づくり ・苗販売会の準備 ・草花園芸の特徴 ・シクラメンについて①特徴 ・夏の草花について ・アジサイについて ・鉢物栽培について ・観葉植物について	【知識及び技能】 草花の特性や生育環境・管理に関する基礎的なことを理解するとともに、関連する技術を身についた。				
	・草花の特性や管理、及び生育に影響を及ぼす環境要因について科学的に捉え、主体的に学ぶ意欲と態度を身につける。		【思考力、判断力、表現力等】 草花栽培とそれらの生育環境を多面的・科学的に考察し、想定される管理上の諸課題について整理し、解決に向け、創造的に解決できた。				
2 学 期	定期考査			○	○		24
	・草花の特性や生育環境・管理に関する基礎的な知識を身につけるとともに、技術の仕組みを理解する。		【学びに向かう力、人間性等】 草花に興味・関心を示し、その特性や管理、および生育に影響を及ぼす環境要因について自ら学び、主体的かつ協働的に取組めた。	○	○	○	
3 学 期	定期考査			○	○		2
	・草花に興味関心を持つ。	「草花栽培の基礎と活用」 ・花壇づくり ・植物ホルモンについて ・冬の鉢花について ・学校祭の販売準備 ・草花の装飾	【知識及び技能】 草花の特性や生育環境・管理に関する基礎的なことを理解するとともに、関連する技術を身についた。				
	・草花の特性や管理、及び生育に影響を及ぼす環境要因について科学的に捉え、主体的に学ぶ意欲と態度を身につける。		【思考力、判断力、表現力等】 草花栽培とそれらの生育環境を多面的・科学的に考察し、想定される管理上の諸課題について整理し、解決に向け、創造的に解決できた。				
3 学 期	定期考査			○	○		24
	・草花の特性や生育環境・管理に関する基礎的な知識を身につけるとともに、技術の仕組みを理解する。		【学びに向かう力、人間性等】 草花に興味・関心を示し、その特性や管理、および生育に影響を及ぼす環境要因について自ら学び、主体的かつ協働的に取組めた。	○	○	○	
3 学 期	定期考査			○	○		2
	・草花に興味関心を持つ。	「草花栽培の応用とまとめ」 ・作物の育種 ・園芸装飾 ・草花園芸の動向 ・草花園芸の流通と課題 ・園芸装飾 ・交流授業	【知識及び技能】 草花の特性や生育環境・管理に関する基礎的なことを理解するとともに、関連する技術を身についた。				
	・草花の特性や管理、及び生育に影響を及ぼす環境要因について科学的に捉え、主体的に学ぶ意欲と態度を身につける。		【思考力、判断力、表現力等】 草花栽培とそれらの生育環境を多面的・科学的に考察し、想定される管理上の諸課題について整理し、解決に向け、創造的に解決できた。				
3 学 期	定期考査			○	○		16
	・草花栽培とそれらの生育環境を多面的・科学的に考察し、諸課題を整理し、解決に向けた具体的な取組を考え、発表により表現できる。		【学びに向かう力、人間性等】 草花に興味・関心を示し、その特性や管理、および生育に影響を及ぼす環境要因について自ら学び、主体的かつ協働的に取組めた。				
	・草花の特性や生育環境・管理に関する基礎的な知識を身につけるとともに、技術の仕組みを理解する。			○	○		1
3 学 期	定期考査			○	○		合計
							70

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 農業 科目 野菜

教 科： 農業 科 目： 野菜 単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組

教科担当者：（木村）

使用教科書：（ 実教出版「野菜」 ※新教育課程のものがまだ発行されていないので旧課程のものを使用 ）

教科 農業 の目標：

【知 識 及 び 技 能】 農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 野菜 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
学習を通して野菜栽培の基本的な事柄について正しく理解し、知識を身につける。また目的に即した技能を習得する。	栽培や学習した事柄を総合的に考え、学んだことを元にして、分析したり、論理的、科学的に考えの確に表現する力を身に付ける。	学習内容に対して興味・関心を持ち理解しようとすると共に問題点を提起し探究しようとするなど、学習に意欲的に取り組む力を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	・夏野菜の栽培について、専門的な知識と技術を習得させる。 ・夏野菜の栽培に関する課題に興味をもち、解決するための力を身に付けさせる。 ・主体的・協働的に学習活動に取り組み自分の意見を持つとする態度を養う。	「夏野菜の栽培」 ・果菜類の栽培 ・根菜類の栽培 ・『野菜生産の役割と動向』	【知識及び技能】 夏野菜の栽培について、専門的な知識と技術を理解・習得し活用しようとしている。 【思考力、判断力、表現力等】 夏野菜の栽培に関する課題に興味をもち、解決しようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的・協働的に学習活動に取り組み自分の意見を持つとしている。	○	○	○	24
	定期考査			○	○		2
2 学 期	・秋冬野菜の栽培について、専門的な知識と技術を習得させる。 ・秋冬野菜の栽培に関する課題に興味をもち、解決するための力を身に付けさせる。 ・主体的・協働的に学習活動に取り組み自分の意見を持つとする態度を養う。	「秋冬野菜の栽培」 ・葉菜類の栽培 ・根菜類の栽培 ・『野菜の流通と経営改善』	【知識及び技能】 秋冬野菜の栽培について、専門的な知識と技術を理解・習得し活用しようとしている。 【思考力、判断力、表現力等】 秋冬野菜の栽培に関する課題に興味をもち、解決しようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的・協働的に学習活動に取り組み自分の意見を持つとしている。	○	○	○	24
	定期考査			○	○		2
3 学 期	・野菜の栽培環境と生育調整について、専門的な知識と技術を習得させる。 ・野菜の栽培環境と生育調整に関する課題に興味をもち、解決するための力を身に付けさせる。 ・主体的・協働的に学習活動に取り組み自分の意見を持つとする態度を養う。	「野菜の栽培環境と生育調整」 ・『野菜の生育特性と栽培環境の調節技術』 ・『野菜の育苗』 ・根菜類の栽培	【知識及び技能】 野菜の栽培環境と生育調整について、専門的な知識と技術を理解・習得し活用しようとしている。 【思考力、判断力、表現力等】 野菜の栽培と生育環境に関する課題に興味をもち、解決しようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的・協働的に学習活動に取り組み自分の意見を持つとしている。	○	○	○	16
	定期考査					○	○
					○	○	

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 農業 科目 農業と情報

教 科： 農業 科 目： 農業と情報 単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組

教科担当者：（丸橋）

使用教科書：（ 実教出版「農業と情報」 ）

教科 農業 の目標：

- 【知識及び技能】 農業に関する情報について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 農業情報の活用に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 農業に関する情報について主体的に調査・分析・活用ができるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 農業と情報 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
学校での学習や実習、産業現場での実習を通して、農業に関する情報等をその目的や条件に合わせて活用できる知識と技術を体系的・系統的に理解している。	農業情報の活用について、環境への配慮や法令遵守などの職業人に求められる倫理観をもって思考を深め、科学的な根拠などに基づいて創造的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。	農業情報を活用した事例をもとに、環境保全や農林業の持続的発展に果たす意義や役割に関心をもちながら、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	・私たちの生活のなかには、情報を活用したさまざまな技術が生かされている。それらの個々の技術に目を向けるとともに、農業にどのように活用されているか、情報化社会におけるモラルとセキュリティの重要性、身に付けた技術をどのように活用するか、などを理解する。	第1章 私たちの生活と農業の情報化 1 情報社会における私たちの生活 2 情報とメディア 3 情報社会とモラル 4 農業を支える情報 第2章 社会を支えるコンピュータ 1 コンピュータのしくみ 2 データや情報の表現	【知識・技能】 情報社会のしくみや農業各分野の情報化、農業の発展に関する知識を理解し、適切に情報を収集、選択して活用している。 情報社会における個人の責任とセキュリティ管理に関する知識を理解し、情報モラルと情報セキュリティ管理に関する資料や情報を収集し、適切に選択し活用している。 【思考・判断・表現】 情報社会のしくみや農業各分野の情報化、農業の発展に関する諸課題の解決をめざして思考を深め、基礎的な知識と技術を合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。 情報モラルと情報セキュリティ管理に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的な知識と技術をもとに合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 情報社会のしくみや農業各分野の情報化に関心をもち、農業の情報化や農業の発展に関する課題や活用について探求しようとしている。 情報モラルと情報セキュリティ管理に関心をもち、プライバシーやその他の権利に関する課題について探求しようとしている。	○	○	○	24
	定期考査			○	○		2
2 学 期	・さまざまなアプリケーションソフトウェアの演習を通して、実際の情報処理の過程を理解するとともに、自分で活用できるように基本的な技術を身に付ける。また、問題解決の過程やアイデアや気づきを引き出す思考技術を理解する。	第3章 コミュニケーションと情報デザイン 1 情報表現のためのソフトウェア 2 文書の作成と表現 3 データの集計と視覚化	【知識・技能】 農業各分野で情報を処理・活用するためのソフトウェア、OSの役割とはたらき、ハードウェアとソフトウェアの相互関係を理解し、情報の収集・分析・統合・加工・発信について適切に選択し活用している。 【思考・判断・表現】 農業各分野で情報を処理・活用する諸課題の解決をめざして思考を深め、基礎的な知識と技術をもとに合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 農業各分野で情報を処理・活用するためのソフトウェア、OSの役割とはたらき、ハードウェアとソフトウェアの相互関係に関心をもち、情報の収集・分析・統合・加工・発信に関する課題や活用について探求しようとしている。	○	○	○	24
	定期考査			○	○		2
3 学 期	・さまざまなアプリケーションソフトウェアの演習を通して、実際の情報処理の過程を理解するとともに、自分で活用できるように基本的な技術を身に付ける。また、問題解決の過程やアイデアや気づきを引き出す思考技術を理解する。	第3章 コミュニケーションと情報デザイン 5 画像・図形処理ソフトウェアの利用 6 プレゼンテーション	【知識・技能】 農業各分野で情報を処理・活用するためのソフトウェア、OSの役割とはたらき、ハードウェアとソフトウェアの相互関係を理解し、情報の収集・分析・統合・加工・発信について適切に選択し活用している。 【思考・判断・表現】 農業各分野で情報を処理・活用する諸課題の解決をめざして思考を深め、基礎的な知識と技術をもとに合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 農業各分野で情報を処理・活用するためのソフトウェア、OSの役割とはたらき、ハードウェアとソフトウェアの相互関係に関心をもち、情報の収集・分析・統合・加工・発信に関する課題や活用について探求しようとしている。	○	○	○	17
	定期考査			○	○		1
							合計
							70

年間授業計画

高等学校 令和5年度（2学年用）教科 農業 科目 総合実習

教 科： 農業 科 目： 総合実習 単位数： 2 単位 （農林科生は時間外1単位もあり）
対象学年組： 第 2 学年 1 組
教科担当者： 本村 土屋 梅田
使用教科書：（ なし ）
教科 農業 の目標：

- 【 知 識 及 び 技 能 】農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 総合実習 の目標：		
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	農業の各分野に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。	農業の各分野について基礎的な知識と技術を実際に活用できるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

単元の具体的な指導目標		指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1 学 期	オリエンテーション		農場案内、安全管理等説明		○	○	○	
	A 野菜分野 【知識及び技能】 野菜栽培の基礎的な知識と技術を習得させる。 【思考力、判断力、表現力等】 野菜生産の現状と課題を認識させる。 【学びに向かう力、人間性等】 地域農業の現状と課題に興味を抱かせる。	野菜の種類 野菜の生育と栽培管理 播種、マルチング 歩行型トラクターの操作 野菜の収穫	【知識・技能】 十分に農業の専門的な知識と器具・機器の使用手法などの技術を十分に理解して活用し、新たな知識と技術の習得を目指して学習に取り組んでいる。	○	○	○	8	
	B 草花分野 【知識及び技能】 草花栽培の基礎的な知識と技術を習得させる。 【思考力、判断力、表現力等】 花き生産の現状と課題を認識させる。 【学びに向かう力、人間性等】 地域農業の現状と課題に興味を抱かせる。	草花栽培の基礎 春まき1年草の栽培 草花の利用	【思考・判断・表現】 十分に農業に関する課題に興味をもち、積極的に解決しようとしている。	○	○	○	8	
	C 畜産分野 【知識及び技能】 家畜飼育の基礎的な知識と技術を習得させる。 【思考力、判断力、表現力等】 畜産業の現状と課題を認識させる。 【学びに向かう力、人間性等】 地域農業の現状と課題に興味を抱かせる。	家畜の飼育管理実習 生産加工実習 衛生管理実習 畜産経営の改善実習	【主体的に学習に取り組む態度】 中心となって主体的・協働的に学習に取り組み、科学的根拠に基づく自分の意見を持つようとしている。	○	○	○	8	
	定期考査 (筆記および実物鑑定)			○	○		2	
	A 野菜分野 【知識及び技能】 野菜栽培の基礎的な知識と技術を習得させる。 【思考力、判断力、表現力等】 野菜生産の現状と課題を認識させる。 【学びに向かう力、人間性等】 地域農業の現状と課題に興味を抱かせる。	野菜の生育と栽培管理について トマト、キュウリの手入れと収穫		○	○	○	8	
	B 草花分野 【知識及び技能】 草花栽培の基礎的な知識と技術を習得させる。 【思考力、判断力、表現力等】 花き生産の現状と課題を認識させる。 【学びに向かう力、人間性等】 地域農業の現状と課題に興味を抱かせる。	秋まき1年草の栽培 草花の利用 学校菜園に向けての準備 乗用トラクターの操作方法		○	○	○	8	
	C 畜産分野 【知識及び技能】 家畜飼育の基礎的な知識と技術を習得させる。 【思考力、判断力、表現力等】 畜産業の現状と課題を認識させる。 【学びに向かう力、人間性等】 地域農業の現状と課題に興味を抱かせる。	家畜の飼育管理実習 生産加工実習 衛生管理実習 畜産経営の改善実習		○	○	○	8	
	定期考査 (筆記および実物鑑定)			○	○		2	
	2 学 期	A 野菜分野 【知識及び技能】 野菜栽培の基礎的な知識と技術を習得させる。 【思考力、判断力、表現力等】 野菜生産の現状と課題を認識させる。 【学びに向かう力、人間性等】 地域農業の現状と課題に興味を抱かせる。	培養土づくり 野菜、年間のまとめ		○	○	○	4
B 草花分野 【知識及び技能】 草花栽培の基礎的な知識と技術を習得させる。 【思考力、判断力、表現力等】 花き生産の現状と課題を認識させる。 【学びに向かう力、人間性等】 地域農業の現状と課題に興味を抱かせる。		草花の装飾 草花栽培のまとめ		○	○	○	6	
C 畜産分野 【知識及び技能】 家畜飼育の基礎的な知識と技術を習得させる。 【思考力、判断力、表現力等】 畜産業の現状と課題を認識させる。 【学びに向かう力、人間性等】 地域農業の現状と課題に興味を抱かせる。		家畜の飼育管理実習 生産加工実習 衛生管理実習 畜産経営の改善実習		○	○	○	6	
定期考査 (筆記および実物鑑定)			○	○		2		
						合計		
							70	

高等学校 令和5年度（2学年用）教科		家庭	科目	ファッション造形
教科：家庭	科目：ファッション造形	単位数：2	単位	
対象学年組：第 2 学年 1 組～ 組				
教科担当者：（ 1組：大村 ）				
使用教科書：（ ファッション造形基礎／実教出版 ）				

の目標：

人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、生活を主体的に営むために必要な理解を図るとともに、それらにかかる技能を身に着けるようにする。

家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。

さまざまな人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
衣服の構成、衣服材料の種類や特徴など衣服製作に関する知識と技術を習得する。	・衣服のデザインや材料の選択に関し、個人の創意・工夫を表現することができる。また製作過程や作品の着用において、必要に応じて個人の創意・工夫をいかし表現することができる	・衣生活の充実を目指して自ら学び、ファッションの造形に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	・下半身を覆う衣服の構成と動作への適応について理解する。立体構成衣服の製作技術を習得する。 ・基礎的な縫製技術を用い、個人の創意・工夫を表現することができる。	・洋服の製作 (ハーフパンツの製作)	【知識・技能】 衣服の構成と動作への適応について理解する。立体構成衣服の製作技術を習得する。 【思考・判断・表現】 刺繍技術やミシンを用いて作品に対し創意・工夫を表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 衣服製作に意欲的に取り組んでいる。	○	○	○	18
	・手縫いやミシンの技術を向上させる。 ・製作物の構成を理解し、指示通りの製作を行うことができる。	・被服製作技術検定3級	【知識・技能】 ミシンの技術が検定基準以上である。 【主体的に学習に取り組む態度】 検定合格に向けて意欲的に取り組んでいる。	○		○	6
	定期考査	・筆記試験 ・実技試験		○	○		2
2 学 期	・上半身を覆う衣服の構成と動作への適応について理解する。立体構成衣服の製作技術を習得する。 ・基礎的な縫製技術を用い、個人の創意・工夫を表現することができる。	・洋服の製作 (男女兼用カジュアルシャツの製作)	【知識・技能】 衣服の構成と動作への適応について理解する。立体構成衣服の製作技術を習得する。 【思考・判断・表現】 刺繍技術やミシンを用いて作品に対し創意・工夫を表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 衣服製作に意欲的に取り組んでいる。	○	○	○	8
	・和服の構成と製作に関する知識・技術を習得し、甚平を製作をする。 ・和服の製作を通して平面構成衣服についての理解を深め、基本的な知識・技術を習得する。	・和服の製作 (甚平の製作)	【知識・技能】 和服の構成と動作への適応について理解する。平面構成衣服の製作技術を習得する。 【思考・判断・表現】 和服の構成に応じた技法を習得し、それを作品に表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 衣服製作に意欲的に取り組んでいる。	○	○	○	16
	定期考査	・実技試験		○	○		2
3 学 期	・和服の構成と製作に関する知識・技術を習得し、甚平を製作をする。 ・和服の製作を通して平面構成衣服についての理解を深め、基本的な知識・技術を習得する。	・和服の製作 (甚平の製作)	【知識・技能】 和服の構成と動作への適応について理解する。平面構成衣服の製作技術を習得する。 【思考・判断・表現】 和服の構成に応じた技法を習得し、それを作品に表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 衣服製作に意欲的に取り組んでいる。	○	○	○	10
	・ゆかたのような簡単に気つけのできる和服を通して着装の手順を学ぶ。 ・和服の礼装と略礼装について理解する。	・和服の着装	【知識・技能】 着つけに必要な手順を理解している。 【思考・判断・表現】 着装のマナーや和服の種類と用途を学び、和服の美しい着装ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 身近な和服の着つけに意欲的に取り組み、和服の着装機会に生かそうとしている。	○	○	○	6
	定期考査	・実技試験		○	○		2
							70

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 家庭 科目 食文化

教 科： 家庭 科 目： 食文化 単位数： 2 単位
対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 組
教科担当者： （1組： 濱田 ） （ 組： ） （ 組： ） （ 組： ） （ 組： ） （ 組： ）
使用教科書： （ なし ） （ ）
教科 家庭 の目標：

- 【知識及び技能】 人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活を主体的に営むために必要な理解を深めるとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだし、課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見過して生活の課題を解決する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 ）様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。

科目 食文化	の目標：
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】
食文化の成り立ちや日本と世界の食文化などについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	食生活の現状から食文化に関する課題を発見し、食文化の伝承と創造を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	食文化の面から食生活の充実に目指して自ら学び、食文化の伝承と創造に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	（1）食文化の成り立ち 日本及び諸外国の食文化の成り立ちの要因について、代表的な食文化を取り上げ、気候や風土、宗教、風俗、習慣との関わりについて考察するとともに食文化を取り巻く現状について課題意識をもつことができる。	日本や諸外国の食文化の成り立ち	【知識・技能】 日本や諸外国の食文化について、成り立ちの要因を理解している。 【思考・判断・表現】 食文化と気候や風土、宗教、風俗、習慣との関わりや食文化を取り巻く現状と課題について課題を発見し、その解決に向けて考察し、工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 食文化の成り立ちについて自ら学び、食文化の伝承と創造に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	4
		食文化と気候や風土、宗教、風俗、習慣との関わり		○	○	○	16
		食文化を取り巻く現状と課題		○	○	○	5
	定期考査			○	○	○	1
	（2）日本の食文化 日本の食生活の変遷について、各時代の特徴を概観するとともに、食習慣や食生活の在り方に関心をもつことができる。	ア 食生活の変遷	【知識・技能】 日本の食文化について、その変遷や料理様式などを理解し、関連する技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 日本の食文化について課題を発見し、その解決に向けて考察し、工夫して表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 日本の食文化について自ら学び、食文化の伝承と創造に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	6
2 学期	（2）日本の食文化 日本の食文化として、日常食、行事食、郷土料理について、具体的な料理や食事の内容を取り上げ、先人の知恵や食の持つ文化的、歴史的側面を考察することができる。	イ 日常食、行事食、郷土料理		○	○	○	8
	（2）日本の食文化 伝統的な料理様式を取り上げ、時代背景とともにその特徴や食卓作法について理解できる。	ウ 料理様式の発展		○	○	○	2
	（3）世界の食文化 世界の主な食文化圏とその料理の特徴を理解し、歴史と食文化圏との関わり、グローバル化の進展に伴う料理や食生活の変化などに関心をもつことができる。	ア 世界の料理の特徴と文化（西洋料理）	【知識・技能】 世界の食文化について、主な食文化圏とその料理の特徴や食のグローバル化による食生活の変遷について理解し、関連する技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 世界の食文化について課題を発見し、その解決に向けて考察し、工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 世界の食文化について自ら学び、食文化の伝承と創造に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	8
	（4）食文化の伝承と創造 食文化の伝承と創造を担う職業人として、家庭や社会の人の健康の維持増進と健全な食生活の実現を図るために、伝統を踏まえ、時代に即応した食文化を受け入れると同時に、さらに新たな食文化を創造し、次世代に伝えていく力を身に付ける。	食文化の伝承と創造	【知識・技能】 食文化の伝承の重要性を踏まえ、新たな食文化を創造することの意義について理解し、関連する技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 日本や世界の食文化の伝承に関する課題を発見し、その解決に向けて工夫し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 新たな食文化の創造について自ら学び、食文化の伝承と創造に主体的かつ協働的に取り組む態度を養っている。				1
	定期考査			○	○	○	1
3 学期	（3）世界の食文化 世界の主な食文化圏とその料理の特徴を理解し、歴史と食文化圏との関わり、グローバル化の進展に伴う料理や食生活の変化などに関心をもつことができる。	ア 世界の料理の特徴と文化（中国料理）	【知識・技能】 世界の食文化について、主な食文化圏とその料理の特徴や食のグローバル化による食生活の変遷について理解し、関連する技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 歴史と食文化圏のかかわりやグローバル化の進展に伴う料理や食文化の変化について課題を発見し、その解決に向けて考察し、工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 世界の食文化について自ら学び、食文化の伝承と創造に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	8
		イ 食生活のグローバル化		○	○	○	5
	（5）食文化と食育 食文化の伝承と創造を担う職業人として、食育の推進の重要性を認識し、食文化の伝承と創造に主体的かつ協働的に取り組むことができる。	食文化と食育	【知識・技能】 食文化の発展のために食育が果たす役割について理解し、関連する情報を収集・整理する力を身に付けている。 【思考・判断・表現】 食文化の発展に関する課題を発見し、その解決に向けてどのような食育を推進する活動が実践できるかを考察し、工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 食文化の面から食育の推進のための活動について自ら学び、食文化の伝承と創造に主体的かつ協働的に取り組んでいる。	○	○	○	4
	定期考査			○	○	○	1
							合計 70

年間授業計画 新様式例

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 家庭 科目 生活産業基礎

教科 家庭

科目 生活産業基礎

単位数 2 単位

対象学年組 第 2 学年 1 組～

教科担当書 (1 組：濱田) (組：) (組：) (組：) (組：) (組：)

使用教科書 (なし)

教科 家庭

【知識及び技能】 人の生活に関わる発達と生活の営みを総合的に捉え、食料・食料の意義、食料・食料と社会との関わりについて理解を深め、食料・食料、食料性、消費や環境などについて、生活を主体的に営むために必要な理解を深めるとともに、それらに基き生活の営みに付与できるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を発見し、課題を設定し、解決策を模索し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に説明するなど、生活を営む上で生活の課題を解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。

科目	生活産業基礎	の目標		【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】	評価	知	意	意	記述 時間	
		【生活産業や関連する職業について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付ける。】										【生活産業や関連する職業に関する課題を発見し、生活産業を営む職業人として合理的かつ創造的に解決する力を養う。】
1学期												
単元の具体的な指導目標		指導項目・内容		評価標準		知	意	意	記述 時間			
1学期	【1】生活産業を学ぶに当たって 職業人として、人々の生活の質の向上や社会の発展に貢献することの意義を理解し、生活産業が人々の生活を支え、心の豊かさを生み出していることを理解し、生活産業への関心を高め、主体的に学ぶことができる。	働くことの社会的な意義や役割 職業人に求められる倫理観 産業構造の変化と職業 生活産業の発展と役割 一人1台端末の活用		【知識・技能】 職業人として働くことの社会的な意義や役割について理解することができる。 【思考・判断・表現】 産業構造の変化について課題を発見し、生活産業を営む職業人としてその解決に向けて考察し、工夫することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 生活産業への関心を高め、適切な選択選択と専門性の向上を目指す。自ら学び、生活産業の発展や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組むようとしている。		○	○	○	8			
	【2】ライフスタイルの変化と生活産業 経済の発展と社会の変化に伴い、勤労形態や消費観、ライフスタイルが多様化している。現代や人々のニーズに応じて生活産業が発展していることや、また、近頃のグローバル化の進展と日本の伝統産業の現状を捉え、問題を発見するとともに今後の課題について考察できるようにする。	社会の変化とライフスタイルの多様化 生活産業の発展と伝統産業 一人1台端末の活用		【知識・技能】 社会の変化に伴いライフスタイルが多様化し、人々のニーズに応じて生活産業が発展していることについて理解することができる。 【思考・判断・表現】 生活産業と日本の伝統産業における課題を発見し、その解決に向けて考察し、工夫することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ライフスタイルの変化と生活産業について自ら学び、生活産業の発展や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組むようとしている。		○	○	○	8			
	【3】ライフスタイルの変化に対応した商品・サービスの開発 生活を支え、消費者が必要とする商品やサービスを提供するためには、様々なライフスタイルにおける消費者のニーズを的確に把握し、必要であることを理解し、商品やサービスを開発し、提供し、改善し、向上させることができる。	消費者ニーズの把握 商品・サービスの開発及び販促・提供 関係法規 一人1台端末の活用		【知識・技能】 消費者のニーズを的確に把握することの必要性と、商品やサービスを開発し、提供し、改善し、向上させるための手法、関係法規の概要や留意点を理解し、関連する技術を身に付ける。 【思考・判断・表現】 消費者のニーズに対応した商品、サービスを開発し提供するための過程における課題を発見し、その解決に向けて考察し、工夫することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ライフスタイルの変化に対応した商品、サービスの提供について自ら学び、生活産業の発展や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組むようとしている。		○	○	○	9			
	【4】生活産業と職業 生活産業への関心を高めるために、家庭に関する学科に関連した産業の種類や特徴、関連する職業について、社会人としての意識や職業観の育成、職業体験活動、調査などを取り入れて理解するとともに、その成果を考察したり、発表したりすることができるようにする。	生活産業分野 一人1台端末の活用		【知識・技能】 家庭に関する学科に関連した産業の種類や特徴、関連する職業について理解し、関連する情報を収集・整理することができる。 【思考・判断・表現】 生活産業に関する職業に就くための課題を発見し、その解決に向けて考察し、工夫することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 生活産業と職業について自ら学び、生活産業の発展や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組むようとしている。		○	○	○	10			
2学期	【1】生活産業と職業 生活産業への関心を高めるために、家庭に関する学科に関連した産業の種類や特徴、関連する職業について、社会人としての意識や職業観の育成、職業体験活動、調査などを取り入れて理解するとともに、その成果を考察したり、発表したりすることができるようにする。	生活産業分野 一人1台端末の活用		【知識・技能】 家庭に関する学科に関連した産業の種類や特徴、関連する職業について理解し、関連する情報を収集・整理することができる。 【思考・判断・表現】 生活産業に関する職業に就くための課題を発見し、その解決に向けて考察し、工夫することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 生活産業と職業について自ら学び、生活産業の発展や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組むようとしている。		○	○	○	2			
	【2】生活産業と職業 生活産業への関心を高めるために、家庭に関する学科に関連した産業の種類や特徴、関連する職業について、社会人としての意識や職業観の育成、職業体験活動、調査などを取り入れて理解するとともに、その成果を考察したり、発表したりすることができるようにする。	生活産業分野 一人1台端末の活用		【知識・技能】 家庭に関する学科に関連した産業の種類や特徴、関連する職業について理解し、関連する情報を収集・整理することができる。 【思考・判断・表現】 生活産業に関する職業に就くための課題を発見し、その解決に向けて考察し、工夫することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 生活産業と職業について自ら学び、生活産業の発展や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組むようとしている。		○	○	○	2			
	【3】生活産業と職業 生活産業への関心を高めるために、家庭に関する学科に関連した産業の種類や特徴、関連する職業について、社会人としての意識や職業観の育成、職業体験活動、調査などを取り入れて理解するとともに、その成果を考察したり、発表したりすることができるようにする。	生活産業分野 一人1台端末の活用		【知識・技能】 家庭に関する学科に関連した産業の種類や特徴、関連する職業について理解し、関連する情報を収集・整理することができる。 【思考・判断・表現】 生活産業に関する職業に就くための課題を発見し、その解決に向けて考察し、工夫することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 生活産業と職業について自ら学び、生活産業の発展や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組むようとしている。		○	○	○	2			
	【4】生活産業と職業 生活産業への関心を高めるために、家庭に関する学科に関連した産業の種類や特徴、関連する職業について、社会人としての意識や職業観の育成、職業体験活動、調査などを取り入れて理解するとともに、その成果を考察したり、発表したりすることができるようにする。	生活産業分野 一人1台端末の活用		【知識・技能】 家庭に関する学科に関連した産業の種類や特徴、関連する職業について理解し、関連する情報を収集・整理することができる。 【思考・判断・表現】 生活産業に関する職業に就くための課題を発見し、その解決に向けて考察し、工夫することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 生活産業と職業について自ら学び、生活産業の発展や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組むようとしている。		○	○	○	2			
3学期	【1】職業生活と自己実現 職業や職業生活を通して自己実現を図るために、適切な職業選択ができることが大切であり、生活産業に関わる職業人に求められる資質・能力を把握し、将来の生活産業のスペシャリストを目指し、将来の生活産業の発展に貢献することができるようにする。	職業生活と自己実現 一人1台端末の活用		【知識・技能】 生活産業に関わる職業人に求められる資質・能力、役割や責任、職業観などについて理解し、関連する情報を収集・整理することができる。 【思考・判断・表現】 適切な選択選択と専門性の向上を目指す。自ら学び、生活産業の発展や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組むようとしている。		○	○	○	6			
	【2】職業生活と自己実現 職業や職業生活を通して自己実現を図るために、適切な職業選択ができることが大切であり、生活産業に関わる職業人に求められる資質・能力を把握し、将来の生活産業のスペシャリストを目指し、将来の生活産業の発展に貢献することができるようにする。	社会の変化と職業生活 一人1台端末の活用		【知識・技能】 生活産業に関わる職業人に求められる資質・能力、役割や責任、職業観などについて理解し、関連する情報を収集・整理することができる。 【思考・判断・表現】 適切な選択選択と専門性の向上を目指す。自ら学び、生活産業の発展や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組むようとしている。		○	○	○	4			
	【3】職業生活と自己実現 職業や職業生活を通して自己実現を図るために、適切な職業選択ができることが大切であり、生活産業に関わる職業人に求められる資質・能力を把握し、将来の生活産業のスペシャリストを目指し、将来の生活産業の発展に貢献することができるようにする。	職業生活と自己実現 一人1台端末の活用		【知識・技能】 生活産業に関わる職業人に求められる資質・能力、役割や責任、職業観などについて理解し、関連する情報を収集・整理することができる。 【思考・判断・表現】 適切な選択選択と専門性の向上を目指す。自ら学び、生活産業の発展や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組むようとしている。		○	○	○	7			
	【4】職業生活と自己実現 職業や職業生活を通して自己実現を図るために、適切な職業選択ができることが大切であり、生活産業に関わる職業人に求められる資質・能力を把握し、将来の生活産業のスペシャリストを目指し、将来の生活産業の発展に貢献することができるようにする。	職業生活と自己実現 一人1台端末の活用		【知識・技能】 生活産業に関わる職業人に求められる資質・能力、役割や責任、職業観などについて理解し、関連する情報を収集・整理することができる。 【思考・判断・表現】 適切な選択選択と専門性の向上を目指す。自ら学び、生活産業の発展や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組むようとしている。		○	○	○	7			
定期考査								○	○	○	1	
合計												70

合計
70

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科		学校設定	科目 生産と加工
教科：学校設定	科目：生産と加工	単位数：2 単位	
対象学年組：第2学年	1組～3組		
教科担当者：梅田	土屋	坂本	濱田
使用教科書：（なし）			
教科 学校設定	の目標：		

【知識及び技能】農業の各分野と生産活動を横断的にとらえ、体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】農業と生産活動に関する課題を発見し、職人にと求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】職業の向上と必要豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、生産加工を通して社会の向上と生活実感を旨とし、主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
1 授業で学習した内容が知識として定着している 2 テーマに沿った実技ができる	1 衛生面や安全面に注意して実習ができる 2 生産や加工の作品製作で表現できる	1 授業への意欲的な参加 2 生産や加工に向かう興味を持ち、自らの生活向上に社会貢献に関心、意欲をもてる

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
【農業】 ・作物に興味関心を持つ。 ・作物の特性や管理、及び生育に影響を及ぼす環境要因について科学的に捉え、主体的に学ぶ意欲と態度を身につける。 ・作物栽培とそれらの生育環境を多面的・科学的に考察し、課題を整理し、解決に向けた具体的な取組を考え、発表により表現できる。 ・作物の特性や生育環境・管理に関する基礎的な知識を身につけるとともに、技術の仕組みを理解する。	夏野菜の栽培・収穫 羊の毛刈り 米蒔の収穫	・授業内の実技試験実施 【知識及び技術】 1 授業で学習した内容が知識として定着している 2 テーマに沿った実技ができる 【思考力・判断力・表現力等】 1 衛生面や安全面に注意して実習ができる 2 生産や加工の作品製作で表現できる 【学びに向かう力】 1 授業への意欲的な参加 2 生産と加工について興味を持ち、自らの生活向上と社会貢献に関心、意欲をもてる	○	○	○	26
【家庭】 ・農産品加工の知識と技術を身につける。 ・農産品加工の知識と技術を活用して、思考判断し自ら発展させることができる。 ・生産と加工に意欲的に取組む態度を養い、自らの生活の向上と社会貢献の観点から、新しい提案を表現する力を身につける。	羊毛などを利用した手芸 収穫物を利用した調理		○	○	○	26
【農業】 ・作物の特性や生育環境・管理に関する基礎的な知識を身につけさせ、管理の原理や方法を理解する。 ・自らの課題に基づき、適切な課題を設定し、実施に向けた計画を立案するための思考・判断・表現できる力を身につける。 ・栽培管理について科学的・合理的に判断し、生育段階や環境条件に応じた適切な処置をする能力を身につける。	米蒔の収穫 冬野菜の栽培 畜産加工 リース作り		○	○	○	26
【家庭】 ・農産品加工の知識と技術を身につける。 ・農産品加工の知識と技術を活用して、思考判断し自ら発展させることができる。 ・生産と加工に意欲的に取組む態度を養い、自らの生活の向上と社会貢献の観点から、新しい提案を表現する力を身につける。	羊毛などを利用した手芸 収穫物を利用した調理		○	○	○	26
【農業】 ・作物に興味関心を持つ。 ・作物の特性や管理、及び生育に影響を及ぼす環境要因について科学的に捉え、主体的に学ぶ意欲と態度を身につける。 ・作物栽培とそれらの生育環境を多面的・科学的に考察し、課題を整理し、解決に向けた具体的な取組を考え、発表により表現できる。 ・作物の特性や生育環境・管理に関する基礎的な知識を身につけるとともに、技術の仕組みを理解する。	園芸装飾 夏野菜の播種		○	○	○	18
【家庭】 ・農産品加工の知識と技術を身につける。 ・農産品加工の知識と技術を活用して、思考判断し自ら発展させることができる。 ・生産と加工に意欲的に取組む態度を養い、自らの生活の向上と社会貢献の観点から、新しい提案を表現する力を身につける。	収穫物を利用した調理 植物を活用した手芸		○	○	○	18
						合計
						70

高等学校 令和5年度（2学年用）教科 商業 科目 簿記

單位數： 4 單位

使用教科書：（ 7 実教 708 高校簿記

【思考力、判断力、表現力等】取引の記録と財務諸表の作成の方法の妥当性と課題を見だし、ビジネスに携わる者として科学的な根拠

【学びに向かう力、人間性等】企業会計に関する法規と基準を適切に適用する力の向上を目指して自ら学び、適正な取引の記録と財務諸

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
簿記について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	取引の記録と財務諸表の作成の方法の妥当性と課題を見いだし、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に課題に対応する力を養う	企業会計に関する法規と基準を適切に適用する力の向上を目指して自ら学び、適正な取引の記録と財務諸表の作成に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	・簿記の意味・目的・役立ちなどを理解させ、学習の心構えを養う。これから学ぶ簿記は複式簿記であり、商業簿記であることを知らせる。簿記の歴史にふれ、これから学ぶ簿記の前提条件について理解させる。	簿記の基礎 第1章 企業の簿記 第2章 簿記の要素 第3章 取引と勘定	・簿記を学ぶことの意義と必要性を考えただか。 ・企業の簿記の意義と役割を知り、簿記の学習に興味を示し、学習しようとする態度がみられたか。 ・簿記の要素と貸借対照表・損益計算書の構造や役割、簿記一巡の手続きなど、簿記の仕組みを理解したか。	○	○	○	10
	・簿記上の取引の意味を理解させる。勘定・勘定科目・勘定口座の意味、勘定の種類を知らせる。勘定記入法については十分理解させる。取引要素の結合関係を理解させる。	第4章 仕訳と転記 第5章 仕訳帳と総勘定元帳 第6章 試算表 第7章 決算	・簿記上の取引の意味を理解しているか。 ・仕訳の意味を理解しているか。 ・貸借対照表や損益計算書の作成を考え、適切に作成できたか。 ・精算表の作成について関心を高め、作成法を習熟しようとしたか。	○	○	○	16
	定期考査			○	○		1
	・現金・当座預金・その他の預金の意味を理解させ、その記帳法を習得させる。 ・3分法による商品売買の記帳法を理解させる。	取引の記帳と決算Ⅰ 第8章 現金・預金の記帳 第9章 商品売買の記帳	・現金・預金の取引に関する基本的な内容とその記帳法を理解して、基礎的な技術を身に付けたか。 ・商品売買の取引に関する基本的な内容とその記帳法を理解して、基礎的な技術を身に付けたか。	○	○	○	12
	・売掛金元帳と買掛金元帳の必要性と記帳法を理解させる。 ・固定資産の種類とその取得についての記帳法を理解させる。 ・決算整理の意味とその必要性について理解させる。	第10章 掛け取引の記帳 第11章 固定資産の記帳 第12章 決算（その1）	・掛け取引の記帳に関して、自ら考えを深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、表現する能力を身につけたか。固定資産の取引に関する基本的な内容とその記帳法を理解して、基礎的な技術を身に付けたか。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
2 学 期	・約束手形と為替手形の違いを理解させ、これらの手形の授受に伴う記帳法を習得させる。 ・貸付金と借入金、前払金と前受金、未収入金と未払金の各勘定の意味を理解させ、記帳法を習得させる。	取引の記帳と決算Ⅱ 第13章 手形取引の記帳 第14章 その他の債権・債務の記帳 第15章 販売費及び一般管理費の記帳 第16章 資本金の記帳 第17章 決算（その2）	・手形の取引に関する基本的な内容とその記帳法を理解して、基礎的な技術を身に付けたか。その他の債権・債務の取引等に関する基本的な内容とその記帳法を理解して、基礎的な技術を身に付けたか。資本金の取引等に関する基本的な内容とその記帳法を理解して、基礎的な技術を身に付けたか。	○	○	○	23
	定期考査			○	○		1
	・帳簿の種類と、帳簿組織およびそれらと分課制度との関係、帳簿組織の立案について理解させる。 ・伝票のはたらきとその種類を理解させる。仕訳伝票による取引の記帳法を理解させる。3伝票制による取引の記帳法および集計と転記について理解させる。	帳簿・伝票と記帳の効率化 第18章 帳簿 第19章 仕訳伝票と3伝票制 取引の記帳と決算Ⅲ 第21章 有価証券とその他の手形取引の記帳 第22章 決算（その3）	・ビジネスの諸活動について、記帳にどの帳簿または伝票を用いてよいかの判断ができ、適切に表現できるか。入金取引・出金取引・その他の取引にどの伝票を用いるかの判断を通して、記帳の合理化を考えることができるか。損益計算書と貸借対照表の作成法を理解し、作成することができたか。	○	○	○	28
	定期考査			○	○		1
3 学 期	・支店会計の意味を理解させ、本支店間および支店相互間の取引の記帳法を習得させる。 ・本支店の貸借対照表と損益計算書の合併の意味とし、その手続きおよび作成法について習得させる。	本支店の会計 第23章 支店の取引 第24章 本支店の財務諸表の合併 株式会社の記帳 第25章 設立と開業の記帳	・本支店間の取引、支店相互間の取引などに關する基本的な内容を理解して、基礎的な技術を身に付けたか。株式会社の設定と開業についで、その記帳処理の学習を積極的に進めようとしているか。	○	○	○	16
	・剰余金の処分とその記帳法を理解させる。 ・株式会社に課せられる税金のおもな種類を理解させる。	第26章 剰余金の処分に關する記帳 第27章 株式会社の税金の記帳	・剰余金の処分について、その記帳について自らの思考を深め、適切に判断しているか。株式会社の税金の記帳法について、基本的な内容を理解して、基礎的な技術を身に付けたか。	○	○	○	16
	定期考査			○	○		1
							合計 140

高等学校

令和5年度（2学年用）

教科

総合的な探究の時間

科目

総合的な探究の時間

教科：総合的な探究の時間

科目：総合的な探究の時間

単位数：1 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 3 組

教科担当者：全教員

使用教科書：（なし）

教科 総合的な探究の時間

の目標：

- 【知識及び技能】
- 地域や社会の人、もの、ことに関わる探究の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付けるとともに、地域や社会の特徴やよさに気づき、それらが人々の関わりや協働によって支えられていることに気付く。
- 【思考力、判断力、表現力等】
- 地域や社会の人、もの、ことと自分自身との関わりから問いを見いだし、その解決に向けて仮説を立てたり、調査して得た情報を基に分析したりする力を身に付けるとともに、論理的にまとめ・表現する力を身に付ける。
- 【学びに向かう力、人間性等】
- 地域や社会の人、もの、ことについての探究活動に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、持続可能な社会を実現するために行動し、社会に貢献しようとする態度を育てる。

科目 総合的な探究の時間 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
地域や社会の人、もの、ことに関わる探究の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付けるとともに、地域や社会の特徴やよさに気づき、それらが人々の関わりや協働によって支えられていることに気付く。	地域や社会の人、もの、ことと自分自身との関わりから問いを見いだし、その解決に向けて仮説を立てたり、調査して得た情報を基に分析したりする力を身に付けるとともに、論理的にまとめ・表現する力を身に付ける。	地域や社会の人、もの、ことについての探究活動に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、持続可能な社会を実現するために行動し、社会に貢献しようとする態度を育てる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
通 年 （ 週 時 程 外 ）	自己発見のための講座 【知識及び技能】 課題の解決に必要な知識及び技能を身に付けるとともに、自分自身が様々な人々の関わりや支えられていることに気付かせる。 【思考力、判断力、表現力等】 地域社会と自分自身の関わりから問いを見いだし、解決に向けて仮説を立て、調査分析し、論理的にまとめ・表現する力を身に付けさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 探究活動に主体的・協働的に取り組み、社会に貢献しようとする態度を身に付けさせる。	自己発見のための講座 ①国際理解講演会（教務） ②玉川パフォーミング・アーツプログラム ③国際理解講演会（進路）	数値評価ではなく文章記述による評価 【知識・技能】 地域や社会の人、もの、ことに関わる探究の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付けるとともに、地域や社会の特徴やよさに気づき、それらが人々の関わりや協働によって支えられていることに気付くことができたか。 【思考・判断・表現】 地域や社会の人、もの、ことと自分自身との関わりから問いを見いだし、その解決に向けて仮説を立てたり、調査して得た情報を基に分析したりする力を身に付けるとともに、論理的にまとめ・表現する力を身に付けることができたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 地域や社会の人、もの、ことについての探究活動に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、持続可能な社会を実現するために行動し、社会に貢献しようとする態度を身に付けることができたか。	○	○	○	6
	郷土芸能祭 【知識及び技能】 郷土芸能に関する課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、地域や社会の特徴やよさに気づき、探究の意義や価値に気付かせる。 【思考力、判断力、表現力等】 郷土芸能と自己との関わりから問いを見いだし、仮説を立て、調査分析し、論理的にまとめ・表現する力を身に付けさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 探究活動に主体的・協働的に取り組むとともに互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、社会に貢献しようとする態度を身に付けさせる。	郷土芸能祭 ①ガイダンス ②地区別ガイダンス ③各地区練習 ④各地区リハーサル ⑤郷土芸能祭 ⑥郷土研究振り返り ⑦報告書作成		○	○	○	29
							合計 35